

西志和農園だより

社会福祉法人 広島県同胞援護財団
 障害者支援施設 西志和農園
 〒739-0267
 広島県東広島市志和町別府
 10184-29
 TEL 082-433-2220
 FAX 082-433-2221
 HP アドレス
<http://www.dohen.or.jp/intro/handycaped/nishishiwa01/>
 ブログアドレス
<http://nishishiwa.blog.fc2.com/>

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、皆様どうお過ごしでしょうか。今回は西志和農園でおこなっている感染防止の対策についてご紹介いたします。

三密への取り組み

西志和農園では、新型コロナウイルス対策の一環として、皆さんが過ごされる共有スペースを「三密」にならずに過ごせるように工夫しています。

デイルームでは、以前までは皆さんが集まってテレビを見たり、談笑して過ごしたりできるようにソファをたくさん並べていました。密接・密集を防ぐためにニヶ所に口の字型に机を配置し、椅子の数を極力減らすことで、一定距離を保てるように配慮しています。また密閉の防止のため換気を定期的におこない、フィジカルディスタンスを意識していただけるように皆さんに適宜声掛けをおこなっています。

地域交流広場も机と椅子のレイアウトを変更し、密にならないよう空間を広く使って過ごせるよう配慮しています。以前は地域交流広場で皆さん一緒にひとつの活動をおこなっていましたが、現在はデイルームや各居室にも分かれ、皆さんが各々で望まれる活動を個別の対応で提供しています。また屋内だけでなく、天気の良い日には希望者で集い、屋外の散歩や畑の石取りなどもおこなっています。

皆さんが集まるとの活動や行事はまだ難しい状況ですが、そんな中でも皆さんが楽しく過ごせるよう、様々な工夫をしながらコロナ禍を乗り越えていこうと思います。

記 松田 愛理

入浴時の取り組み



入所施設内では直接介助が多いため、新型コロナウイルス

の対策が必須となります。その中でもここでは入浴時の対応について紹介したいと思います。

職員は日常的にマスクを着用し日々の支援をおこなっていますが、入浴の際には湿度が高く、これから夏に向けては熱中症のリスクがとても高くなっています。その対策として、入浴支援の際にはフェイスガードを着用し、飛沫防止ができるようにしています。またフェイスガードだけでなく、冷感マスクなどの有用なアイテムを試しながら、暑い夏を乗り切ることができるよう工夫をしています。

以前までは月々金の平日は毎日入浴を提供していましたが、浴室・脱衣場の密を避けるために、男性は支援の手が必要な方とそうでない方の二グループに分け、曜日をずらして入浴していただくように変更しました。女性に関しては、入浴が一五時半からであったものを十五時から開始するようにして時間のゆとりを持たせることで密にならないように配慮しています。

これによって浴室内や脱衣場だけでなく、入浴待ちの列で廊下が密になっていた状態が大幅に緩和されました。結果として感染対策という観点だけでなく、皆さん一人一人がゆとりをもって入浴を楽しむことができるようになりました。

記 土井 健至

食事の取り組み



現在食事の場面では、密集を避けるために通所をご利用の方は作業場への配膳対応に変更し、シートステイご利用の方は時間差で食堂に入室してもらうなど、入所の方と外部から来られる方との接触を避ける対応をしています。それにより食堂を広く使えるようになったため、入所の方は食事の席を対面にならないように変更し、安心して食事をしていただけるよう配慮をしています。また食事時の食堂

内の換気だけでなく、食事前の手洗いや消毒も徹底し、感染の防止に努めています。

食堂前の手洗い場が密集しないための配慮としては、食事前には支援員室横の扉を閉めさせていただき、時間差で少人数ずつ移動していただいています。その際には車椅子や歩行器をお使いの方を優先に入っていたことで、転倒などの事故防止に配慮しています。

食事前に皆さんが待たれている支援員室の横は、最も密になってしまふ場所です。その対策として、スーパードレッシングの前などにある足型のマークを二メートル間隔で貼ることで皆さんにフィジカルディスタンスを意識してもらえよう視覚化しています。また車椅子の方が事故なくスムーズに移動できるように、歩行者の方とのレーン分けをおこない、足形のマークと同様の間隔で車椅子のイラストを貼ることで、視覚的な配慮をおこなっています。並びことが難しい方々専用の待ち場所も用意し、密集しないように配慮しながら食事までの時間を過ごしていただいています。

当園でも色々取り組みを実施する中ではありますが、収束の見えない中、少しでも感染リスクを減らす配慮をしつつ、皆さんが健康に過ごしていただく生活をこれからも職員皆で考えていきたいと思っています。

記 徳永 瑛二

事務所グループホーム 医務の取り組み



事務所では以前より皆様にお知らせしている通り、来園者の制限等をおこなわせていただいています。また職員の時差出勤やテレワークなどをおこない、事務所内が密にならないよう配慮した上で、更に事務所内の座席の間に透明なシートを設置し、飛沫の防止に努めています。

また事業を運営していく上で必要な物品の修理や、皆さんが楽しみにされている自動販売機のジュースの補充などに関して、来園される業者の方との接触を可能な限り避ける形で実施しています。

グループホームなごみでは、感染予防対策として外出行事の

中止や延期をしています。また定期的な換気や帰宅時の手洗いうがい、手指の消毒など、より一般的なご家庭に近い形での対策を実践しています。

医務では、新型コロナウイルスの情報の収集だけでなく、各種医療機関と連携し急病者の受診対応や定期薬の処方受け取りなどをおこなっています。またその際にはマスクだけでなくフェイスシールドの着用もおこない、感染予防に努めています。

コロナ禍において嘱託医の定期的な往診も難しい状況にあるため、タブレット端末を活用し、オンラインでの往診ができるように体制を整えています。

記 兵頭 孝明

通所部の取り組み



広島県に緊急事態宣言が出された四月十六日、通所部を利用されている皆様、ご家族様へ当園での新型コロナウイルス対策の取り組みの説明と、自粛によるご利用の有無を確認させていただきました。ご家族のご不安や、自粛への理解により一ヶ月半お休みされた方もおられます。この場を借りて、ご協力に感謝を申し上げます。

現在通所部では、送迎時の車内の換気(常時窓開け)、乗車時の検温、使用前後の車内の消毒、作業スペースの確保による密接の回避、作業時の換気、作業場の消毒(一日二回)、こまめな手指消毒の声掛けをおこない、もみじ工房内の新しい生活様式を確立できるよう様々な方法を模索しています。

またこれまでは入所されている方の中で通所部の作業への参加を望まれている方も一緒に作業をおこなっていましたが、入所の方との接触を可能な限り避けるため現在は地域交流広場の一角を出張所として使わせていただき、作業に参加していただいています。

感染者の再増加もあり、コロナとの戦いはまだまだ長期戦になることが予想されますが、皆さんが安全に、かつ快適に作業に取り組みめるよう、今後も取り組みを継続していきたいと思

記 瀧田 安曇



【地域交流広場での日中活動の様子】



通所部の皆さんと接触を避ける様、工夫し、作業空間を提供しています。

【中庭で日光浴・草取り】



【密集しないよう分かれての自治会】



【通所部の皆さんの洗車の様子】



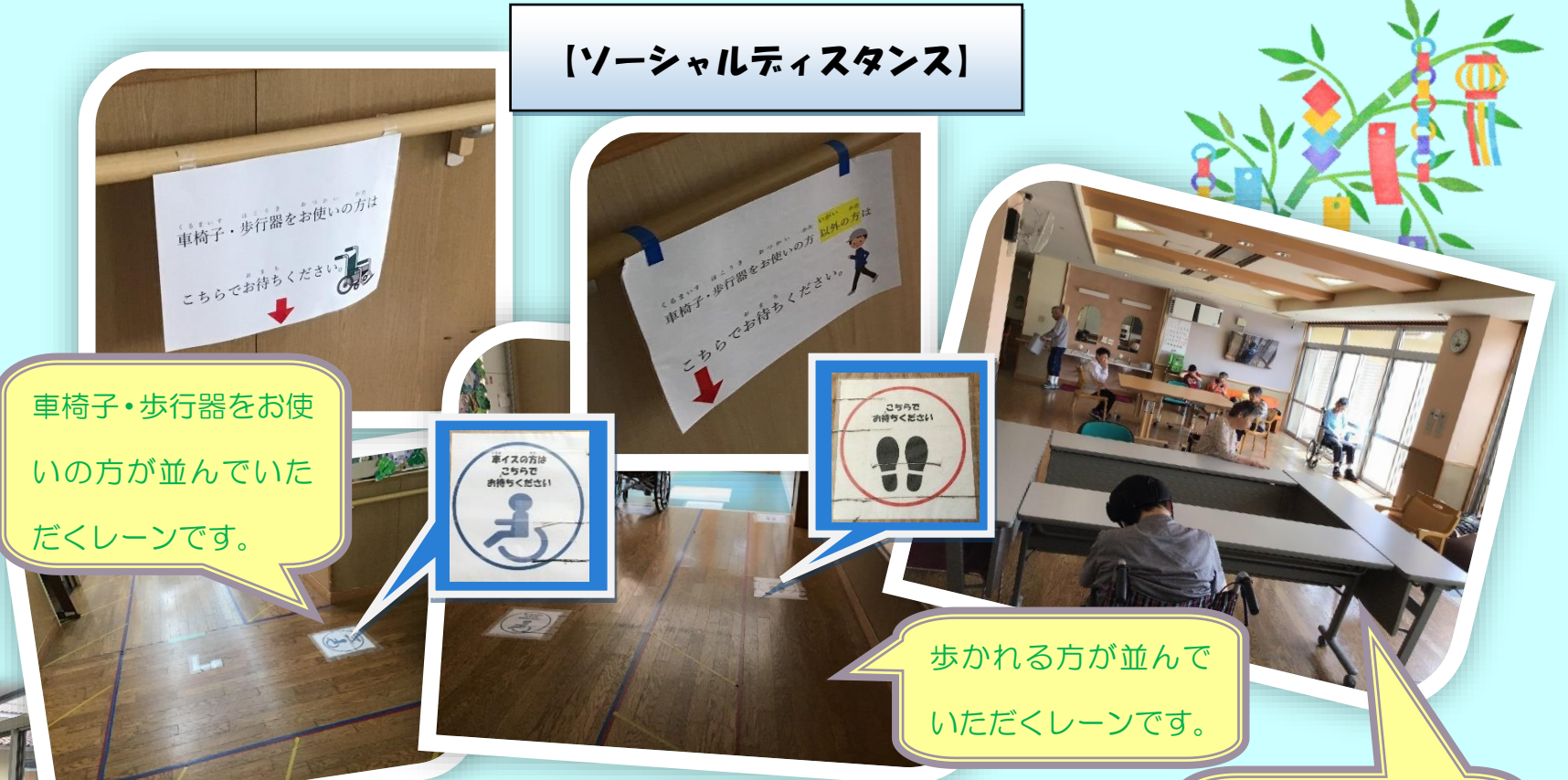
【場所を分けて折鶴解体作業】



是非ご覧下さい！
西志和農園ブログ
日々の生活の様子や行事などについて、月に一度更新をしています。



1つ厚志
・マツタ労働組合
・東洋羽毛
様 様
ありがとうございました！
苦情結果報告
令和二年四月〜
令和二年六月
苦情件数 ○件



【ソーシャルディスタンス】

車椅子・歩行器をお使いの方が並んでいただくレーンです。



歩かれる方が並んでいただくレーンです。



【テイルームでの日中活動の様子】

テイルームのレイアウト変更をしました。



皆さん個性豊かに絵を描いています♪



空き缶積み
ゲームに挑戦!!